

## 三井住友信託銀行 (2018 年グリーンボンド)

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2020 年 9 月 18 日

担当者：

Wakako Mizuta, wakako.mizuta@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

### はじめに

2018 年 9 月、三井住友信託銀行株式会社（以下、「三井住友信託」）は 再生可能エネルギー、エネルギー効率、クリーンな運輸、汚染の防止と管理、グリーンビルディングに関連するプロジェクトへのファイナンス又はリファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（以下、「グリーンボンド」）。2020 年 9 月、三井住友信託はサステナリティクスに対して、グリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトを審査し、これらのプロジェクトが三井住友信託グリーンボンドフレームワーク（以下、「グリーンボンドフレームワーク」）<sup>1</sup> で規定された資金使途やレポーティングのクライテリアを満たしているかの評価を委託しました。本レビューは、2019 年 9 月に行ったサステナリティクスによる三井住友信託のグリーンボンドに対するレビューに続く、2 回目のレビューとなります。

### 評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2020 年 3 月 31 日時点で調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. グリーンボンドフレームワークで規定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. グリーンボンドフレームワークで規定された各資金使途クライテリアに対する少なくとも一つの主要業績評価指標（KPI）に関する報告

表 1 に調達資金の使途と適格クライテリア、表 2 に関連する KPI を示します。

#### 表 1：調達資金の使途及び適格クライテリア

三井住友信託は、フレームワークにおいてグリーンボンドによる調達資金を全部又は一部、既存・新規の環境関連プロジェクト（以下、「適格グリーンプロジェクト」）のファイナンスに充当すると表明しています。適格グリーンプロジェクトには、下表に示すカテゴリーの 1 つ以上に該当するプロジェクトが含まれます。

調達資金の使途	適格クライテリア
(i) 再生可能エネルギー	太陽光エネルギー、風力エネルギー、地熱エネルギー、バイオマスエネルギー、ならびに、発電能力が25メガワット以下の小規模流れ込み式水力エネルギー（貯水設備の規模の拡大を伴わない、既存の大型水力発電所の改修を含む）の発電・送電施設の開発、建設および運営。
(ii) エネルギー効率	送電網、送電および関連システムに関するスマートグリッド、エネルギー貯蔵、オートメーション及びインテリジェンスのエネルギー効率、インフラストラクチャー、機器、技術およびプロセスを大幅に改善するための改修または改築。

<sup>1</sup>三井住友信託グリーンボンドフレームワークの概要（2018）：

[https://www.sustainalytics.com/wp-content/uploads/2018/09/Sumitomo-Mitsui-Trust-Bank\\_Green-Bond\\_Framework-and-SPO\\_Final.pdf](https://www.sustainalytics.com/wp-content/uploads/2018/09/Sumitomo-Mitsui-Trust-Bank_Green-Bond_Framework-and-SPO_Final.pdf)

(iii) クリーンな運輸	クリーンエネルギー自動車への移行、公共交通機関の開発、運用、機能向上を支援するための支出。
(iv) 汚染の防止と管理	廃棄物のリサイクルなど、汚染防止・管理施設の開発、建設および運営。
(v) グリーンビルディング	「LEED」（エネルギーと環境デザインにおけるリーダーシップ）、「BREEAM」（イギリス建築研究所建築物性能評価制度）、又は「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）のような、地域、国家または国際的に認知された 1 つ以上の基準または認証を受けた、新規、既存、または改修された建築物で、LEED においては「LEED ゴールド」以上、BREEAM においては「エクセレント」以上、CASBEE においては「A ランク」以上であると認められたもの。

表 2：主要業績評価指標 (KPI)

主要業績評価指標 (KPI)	
インパクト・レポーティング	<p>「再生可能エネルギー」プロジェクトの場合は、CO<sub>2</sub> 排出削減トン数を報告します。他のプロジェクトカテゴリーについては、適切な効果測定基準をレポートで使用する予定です。これら基準には以下が含まれます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 節約したエネルギー量 (MW)</li> <li>• 乗客の移動距離当たりの CO<sub>2</sub> 排出量 (キロメートル)</li> <li>• 廃棄又はリサイクルされた廃棄物量</li> <li>• 建物の数と認証レベル（「LEED プラチナ」や「CASBEE S」など）</li> </ul> <p>資金を充当した適格グリーンプロジェクトによる環境への影響を、ポートフォリオ又はカテゴリーごとに集計します。</p>

## 発行体の責任

三井住友信託は、プロジェクトの説明、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

## 独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス (ESG) とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステイナリティクスは、三井住友信託のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本契約の一環として、同社のグリーンボンドフレームワークとの適合性の確認のため、三井住友信託の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステイナリティクスは、調査にあたって、対象プロジェクトに関して三井住友信託から提示された情報と事実とに依拠しています。三井住友信託が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステイナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステイナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会 (Sustainability Bonds Review Committee) が監督を行いました。

## 結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果<sup>2</sup>、すべての重要な側面において、三井住友信託のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、グリーンボンドフレームワークで規定された調達資金の用途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。三井住友信託はサステナリティクスに対し、グリーンボンドの調達資金が全額充当されたことを2019年9月に開示したものの、2020年9月に、融資割合及びインパクトレポーティングにおいて変更があったため、再度レビューを実施しましたが、引き続き調達資金が全額充当されていることを確認しています。

## 調査結果の詳細

表3：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金用途クライテリア	2020年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、グリーンボンドフレームワーク及び上の表1に示されている資金用途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金用途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2020年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがグリーンボンドフレームワーク及び上の表2に示されているKPIと適合する形で報告されたかを検証。報告されたKPIの一覧は参考資料2を参照。	審査したすべてのプロジェクトは関連するKPIについてレポーティングクライテリアに従って報告されていました。	該当なし

<sup>2</sup> サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

## 参考資料 1 : 審査対象のプロジェクトカテゴリー一覧

#	プロジェクトカテゴリーの領域	プロジェクトカテゴリー	プロジェクト数	エクセーター原則カテゴリー	融資契約日	カテゴリー内の全プロジェクトが資金使途クライテリアに適合しているか
1	再生可能エネルギー	風力	3 (陸上風力2件、洋上風力1件)	カテゴリーB : 3 プロジェクト	過去 24 ヶ月以内 : 3 プロジェクト	適合
2	再生可能エネルギー	太陽光	13	カテゴリーB : 13 プロジェクト	過去 24 ヶ月以内 : 13 プロジェクト	適合

## 参考資料 2 : プロジェクトのインパクト一覧

#	プロジェクトカテゴリーの領域	プロジェクトカテゴリー	プロジェクト数	グリーンインパクト : CO <sub>2</sub> 排出削減量の合計 (t-CO <sub>2</sub> /年)	グリーンインパクトのうち三井住友信託に帰属するもの (t-CO <sub>2</sub> /年) <sup>3</sup>	カテゴリー内の全プロジェクトの KPI がレポーティングクライテリアに適合しているか
1	再生可能エネルギー	風力	3 (陸上風力2件、洋上風力1件)	494,988	51,929	適合
2	再生可能エネルギー	太陽光	13	145,499	117,666	適合

<sup>3</sup> 各プロジェクトにおける三井住友信託の出資比率に基づいて算出。

## 免責事項

© Sustainalytics 2020 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

英語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は英語版が優先されるものとします。

## サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、格付け及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020 年には、Climate Bonds Initiative により、3 年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2 年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、[www.sustainalytics.com](http://www.sustainalytics.com) をご参照ください。

### 5th Green Bond Pioneer Awards

Climate Bonds Initiative

Largest Verifier for Certified Climate Bonds of 2019

awarded to Sustainalytics

SUSTAINALYTICS  
a Morningstar company

Climate Bonds  
AWARDS 2020

More information [conference.climatebonds.net/awards](http://conference.climatebonds.net/awards)



### GlobalCapital SRI Awards

Named

2015: Best SRI or Green Bond Research or Rating Firm  
2017, 2018, 2019: Most Impressive Second Opinion Provider



The  
Green Bond  
Principles